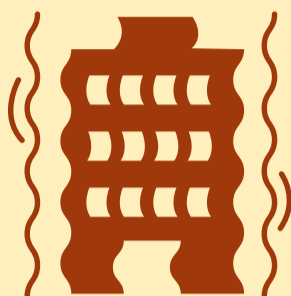


災害や救急への 対策は十分ですか？

Disaster Preparation



津波
Tsunami



地震
Earthquake



台風
Typhoon



火災
Fire



洪水
Flood



これだけは準備しておきましょう！

- 食料・飲料などの備蓄は十分ですか？
- 非常用持ち出しバッグの準備は出来ていますか？
- 自宅等の危険度認識をハザードマップで確認しておきましょう。
- 避難場所や避難経路も確認しておきましょう。
- ご家族同士が遠くにいるときの安否確認方法は、決まっていますか？

- 万が一のために救命器具AED等の使い方を理解しておきましょう。

※詳しくは下記救急蘇生法のWebサイトをご覧ください。



9月9日は“救急の日”

いざという時に頼りに出来るよう
地域の医師との関係も大切にしましょう。

2018年度は9月9から15日までが救急医療週間

心停止について、日本では毎年5万人以上が心臓突然死で死亡している現状があります。
心停止から1分ごとに、救命率は7~10%下がります。救急車に通報して到着までの平均到着時間は8.6分*。
それまでの時間、一般市民の方による迅速な救急通報、迅速な救急蘇生(心肺蘇生や気道異物除去等)は、
救急隊や医療機関での処置と比べて、心停止患者の救命、社会復帰に、より大きく貢献するといわれています。

*総務省「平成27年版 救急救助の現況」より

より良い地域医療を！平野のみなさんの健康のために！

詳しくは、救急蘇生法の
Webサイトをご覧ください！

救急蘇生法

検索

※パソコンでもご利用いただけます。

